

## グループ活動紹介

# キヤノン(株)における 品質工学

キヤノン(株) 生産技術本部 吉原 均



### 1. はじめに

当社は、デジタルカメラ、ネットワークカメラなどの映像機器、複写機、レーザービームプリンタ、インクジェットプリンタなどの事務機から、医療機器や半導体製造装置などの超精密技術まで、幅広い事業ジャンルにおいて世界一の製品とサービスの提供を目指して活動している。

### 2. 報告内容について

当社の取り組みは、学会誌 (Vol.12, No.4 [2004年8月号]) に「キヤノン(株)における品質工学の取り組み」を一度報告している。今回は二度目の活動報告なので、全体的な活動の報告ではなく、対象を絞って、社内の品質工学講座を受講した社員に対して、受講後一定期間度経過した時点で、受講した内容が実務で活かされたかどうかを追跡調査したアンケートから報告を行うこととした。

ちなみに、筆者の現在の品質工学に関する主な社内活動は、部門内の品質工学の実践支援と、社内の品質工学の初級講座と中級講座の講師を務めていることである。初級講座は、品質工学の考え方を中心にした座学とワークショップ形式で例題テーマをグループ討議して品質工学の検討プロセスを体験させ、事例の読み砕き行って、品質工学論文の読み方の勘所を理解するという内容で行っている。中級講座は、体験演習講座としてフリーのシミュレータソフトを利用して、シミュレーションによるパラメータ設計の一連の検討プロセスを実行して、実践的な取り組み方を理解する講座としている。

### 3. アンケート内容

以下のようなアンケートを行った。

- ・業務で品質工学を活用できる機会があったか。
  - ・機会があったとき実際に活用したか。
  - ・活用して効果はあったか。
  - ・活用するうえで、専門家の支援は必要か。
  - ・機会がなかった理由は何か。
  - ・今後機会があれば活用するか。
  - ・受講、活用で「わからない」点は何か。
- 他に自由文による記述の回答を得ている。

### 4. アンケート結果

アンケートの集計結果は以下ようになった。

- ・業務で品質工学を活用できる機会があったか。  
あった 62% なかった 27% 不明 11%
- ・機会があったとき実際に活用したか。  
活用した 9% 活用しない 4%  
活用しようと思っている 54%  
活用したいが良く分からない 33%
- ・活用して効果はあったか。  
あった 60% まだ効果が見えない 40%
- ・活用するうえで、専門家の支援は必要か。  
必要 35% 必要ない 9% 不明 56%
- ・機会がなかった理由は何か。  
適用できるテーマがない 63%  
職場の雰囲気 13%  
忙しくて考える時間がない 13%  
自分の業務に合わない・他 12%
- ・今後機会があれば活用するか。